

地方自治体における情報システム（生活保護）の 標準仕様書改訂に向けた調査研究等一式

第2回内部帳票WT（2023年9月13日） 事務局資料



Build Beyond As One.

第2回内部帳票WT 次第

<日時・場所>

令和5年9月13日（水） 14:00～16:00 オンライン開催（Zoom）

<議題>

1. 内部帳票WTの議題一覧
2. 内部帳票の標準化方針
3. 電子決裁の運用
4. EUC機能による出力帳票の整理
5. 今後の内部帳票WTの進め方

<配布資料>

資料 1 第1回内部帳票WT 事務局資料（本紙）


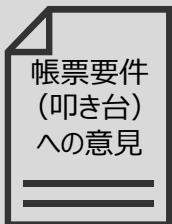
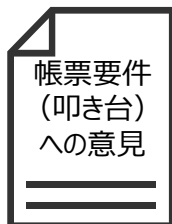



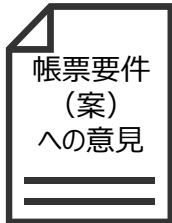
1.内部帳票WTの議題一覧



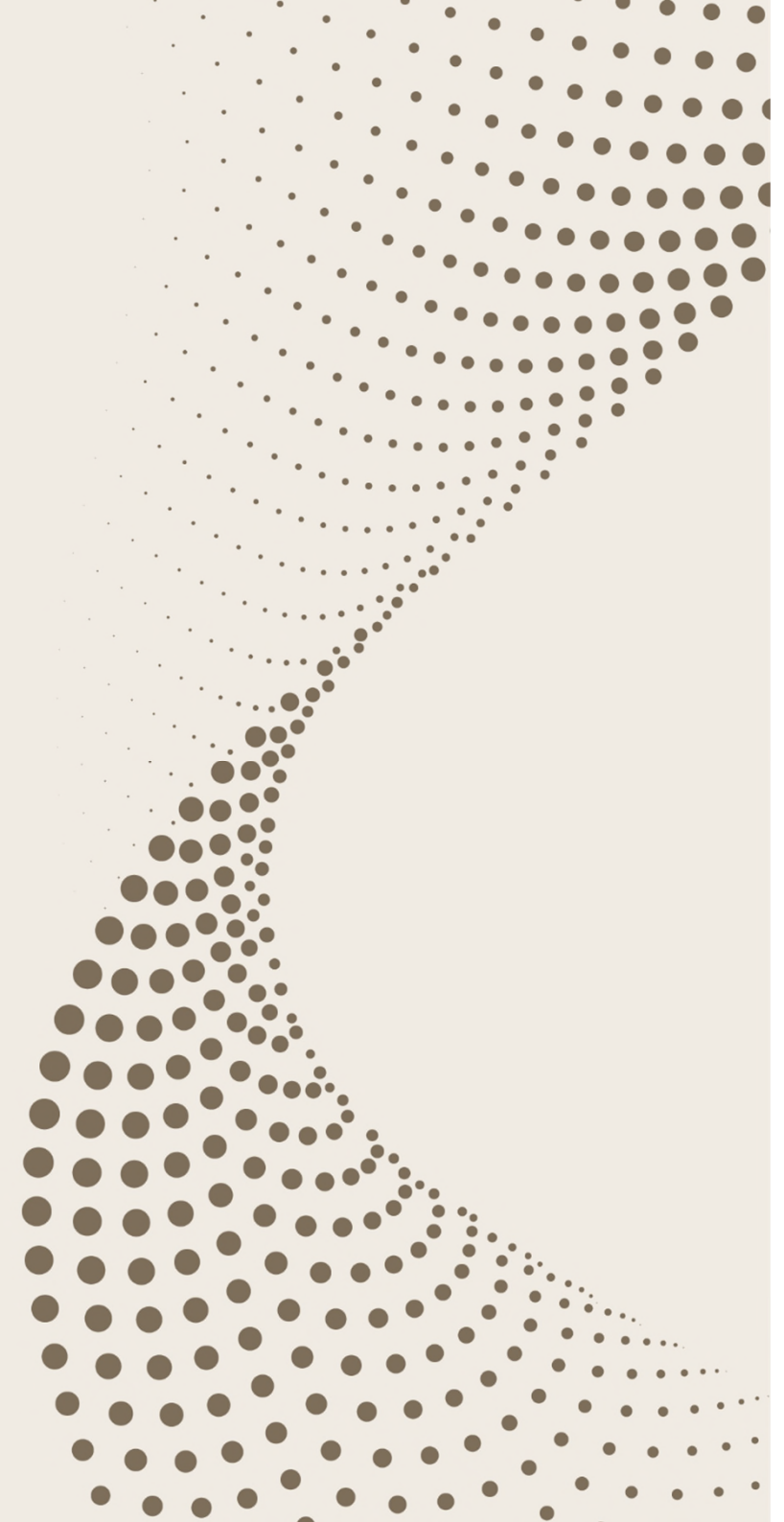
1.内部帳票WTの議題一覧

1.1 内部帳票WTの議題

- 本WTにおいては、8月から10月にかけて、計4回のWTを開催し、標準仕様書2.0版への改版対応を議論します（回数は現在の想定）。
- 本日の第2回WTでは、内部帳票の標準化方針の検討、電子決裁の運用方針の整理、EUC機能で出力可能な帳票の整理を行います。

第1回 (8月)	1. 内部帳票WTの目的 2. 内部帳票の標準化方針 3. 今後の内部帳票WTの進め方 この回における成果物  	第3回 (9月)	1. 第2回WTで頂戴した意見への回答 2. 第2回WT後に収集した意見に基づく、叩き台の提示・意見収集 この回における成果物 
本日 第2回 (9月)	1. 内部帳票WTの議題一覧 2. 内部帳票の標準化方針 3. 電子決裁の運用 4. EUC機能による出力帳票の整理 5. 今後の内部帳票WTの進め方 この回における成果物   	第4回 (10月)	1. 帳票要件（案）への意見収集 この回における成果物 

2.内部帳票の標準化方針

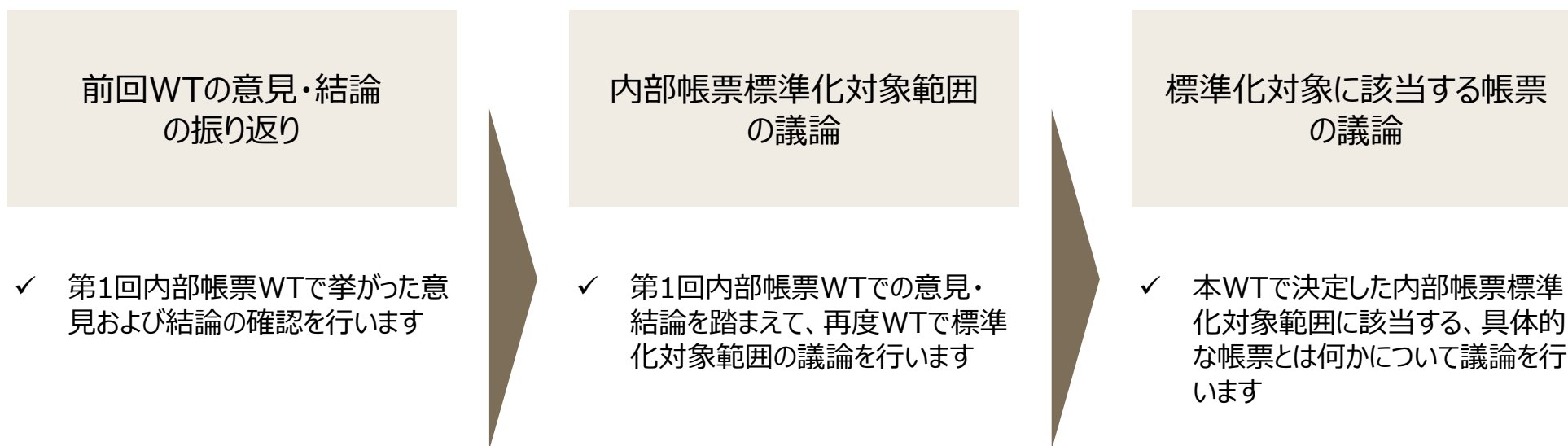


2.内部帳票の標準化方針

2.1 本日の議論の進め方

- 内部帳票の標準化は、前回WTの意見・結論の振り返り、内部帳票標準化対象範囲の議論、標準化対象に該当する帳票の議論の順番で進めていきます。

本日の議論の進め方



※ 第2回WTでは、標準化対象の内部帳票について重点的に議論をするため、帳票レイアウトたたき台への意見収集は、本WT後にアンケート形式で実施。

2.内部帳票の標準化方針

2.2 前回WTでの意見・結論の確認

- 前回のWTにおいて、自治体とベンダからそれぞれご意見を頂戴した結果、**内部帳票の標準化範囲を再度検討する**という結論となりました。
- また、帳票要件（レイアウト・帳票詳細要件）のたたき台は、自治体の帳票サンプルとベンダの帳票サンプルを用いて作成することとなりました。

前回WTの振り返り

ベンダの意見

- ✓ 事務局の想定する保護費支給に係る帳票以外に、面接記録票や保護決定台帳、財務関係の帳票も標準化の対象となると想定している。
- ✓ 帳票詳細要件と帳票レイアウトのたたき台については、ベンダ各社のサンプルを用いて作成していただきたい。

自治体の意見

- ✓ 事務局想定 of 帳票に加えて、移管時に他自治体に提供する帳票、業務における使用頻度の高い帳票も標準化の対象として検討いただきたい。
- ✓ 帳票詳細要件と帳票レイアウトのたたき台は、法令通知を基に作成するのではなく、ベンダ各社の帳票サンプルを基に作成していただきたい。

前回WTの結論

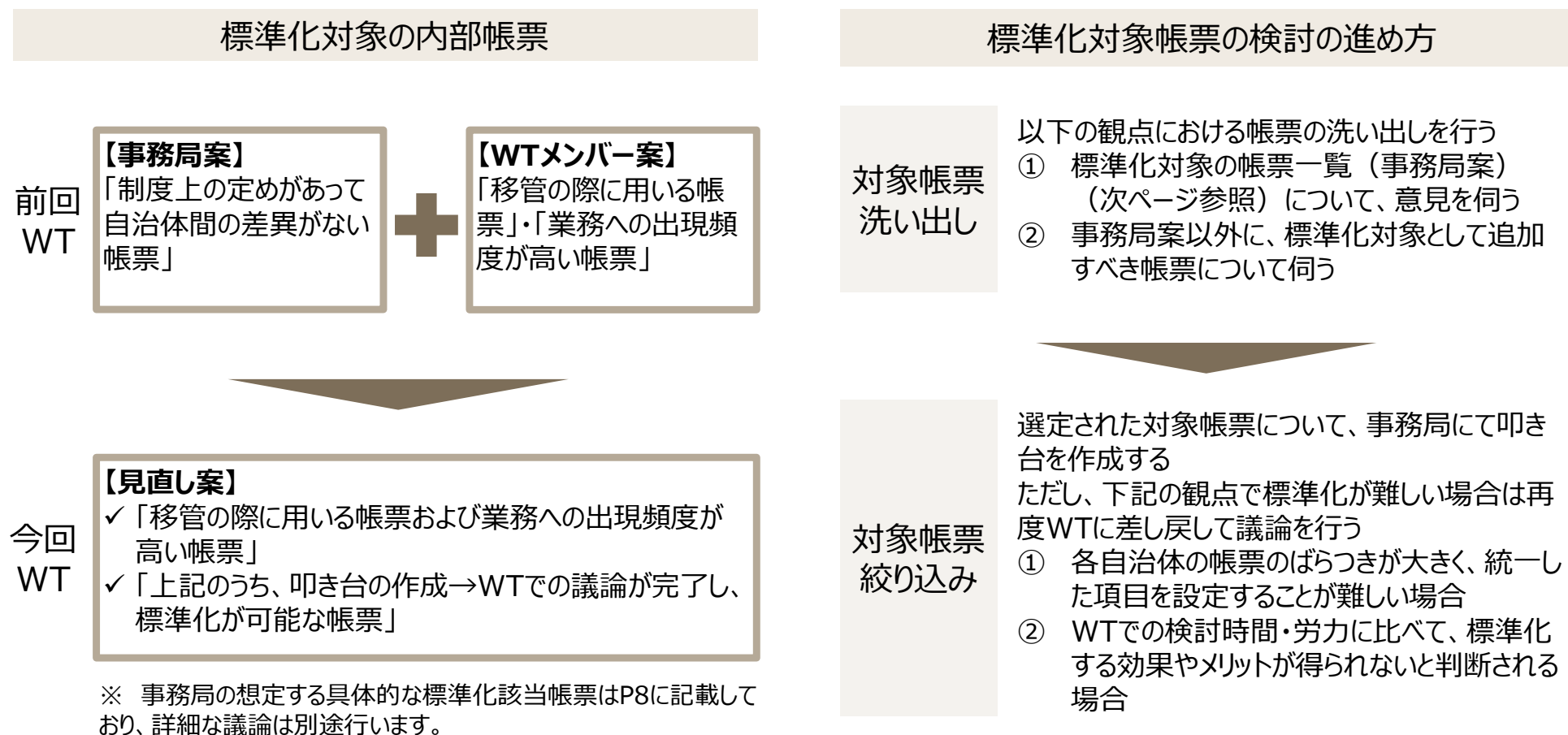
- ✓ **内部帳票の標準化範囲を再度検討する**
- ✓ 帳票要件（レイアウト・帳票詳細要件）のたたき台については、自治体の帳票サンプルとベンダの帳票サンプルを用いて作成する

2.内部帳票の標準化方針

2.3 標準化の対象範囲

- 前回の議論を受けて、内部帳票の標準化対象範囲の見直し案を定義します。
- 事務局案にWTメンバー案を加えた「**移管の際に用いる帳票および業務への出現頻度が高い帳票において標準化が可能な帳票**」で問題がないかご意見を伺います。
- 標準化に該当する帳票は、対象帳票の洗い出し、対象帳票の絞り込みの順番で議論を進めていく想定です。

標準化対象の内部帳票・標準化対象の帳票の検討の進め方



2.内部帳票の標準化方針

2.4 標準化対象帳票の洗い出し検討

- 本項では、前ページで設定した見直し案に該当すると事務局で想定する帳票を一覧化しました。
- 見直し案における「移管の際に用いる帳票」および「業務への出現頻度が高い帳票」の事務局の定義（案）を示しますので、以下の事務局想定帳票に対して、**標準化対象範囲に該当しないものがあるか、事務局案帳票以外に標準化に該当する帳票はあるか**の観点で議論を行い、標準化対象帳票の洗い出しを行います。

標準化対象内部帳票・標準化対象の範囲の定義

標準化対象の帳票（事務局案）

帳票一覧 No	帳票名	検討優先度
13	面接記録票	
14	ケース記録票	
38	扶養義務者台帳	
42	要否判定書	
44	一時扶助決定調書	
50	保護決定調書	
55	要否判定調書	
60	生活扶助基準額計算根拠調書	
61	被保護世帯票	
179	援助方針記録票	

標準化対象範囲の定義

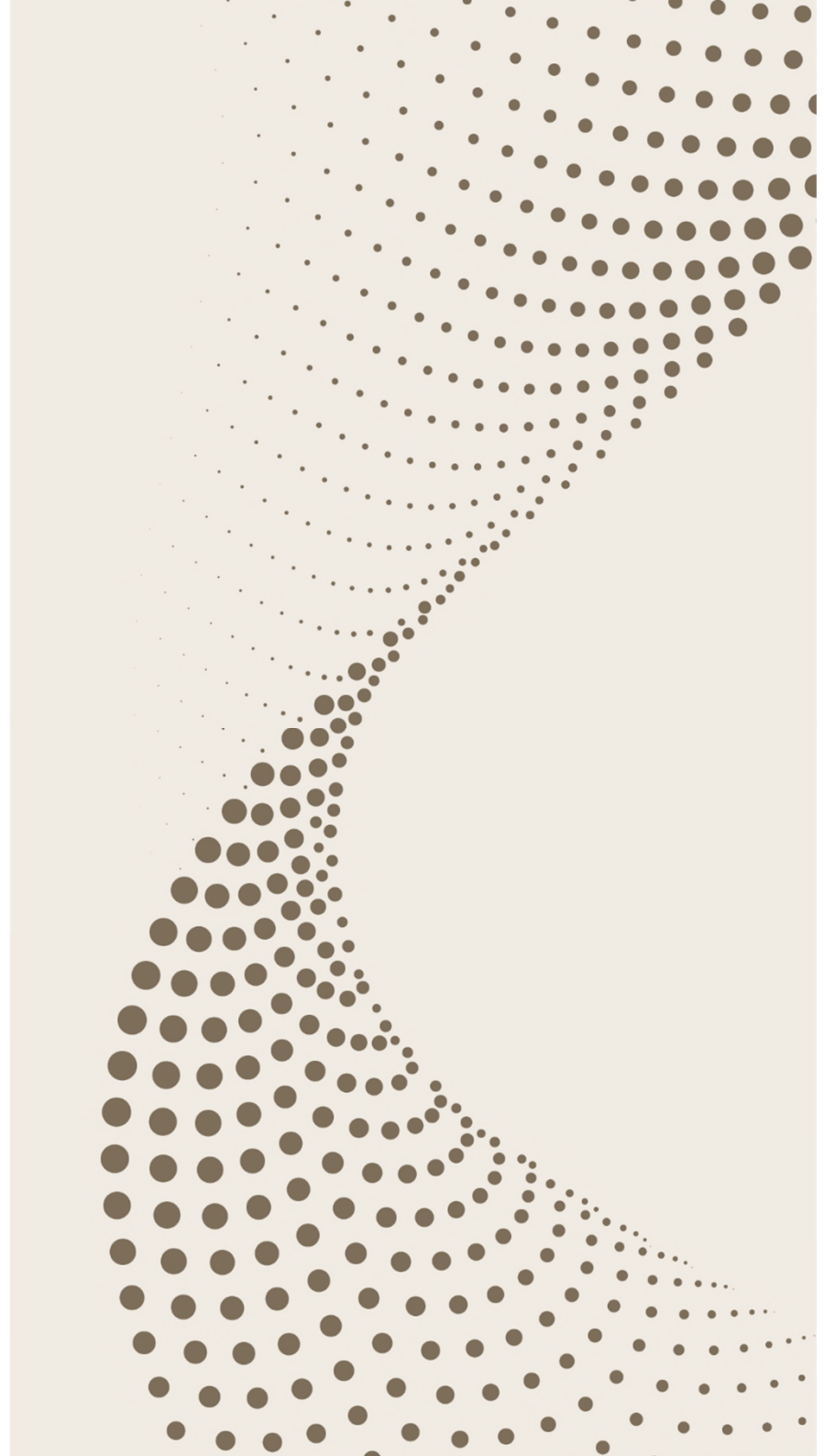
✓「移管の際に用いる」および「業務への出現頻度が高い」の定義は以下を案として想定しております。

- ①「**移管の際に用いる帳票**」
自治体間における移管の際に、最低限必須になると事務局で想定するもの
- ②「**業務への出現頻度が高い帳票**」
事務局において、CW1人が週に1回以上使用すると想定するもの

【議論】上記事務局（案）について、以下の観点から意見を収集し、議論します

- ① 上記帳票において、標準化対象に該当しないと認識している帳票があれば、意見を伺いたい。
- ② 上記帳票以外に、標準化対象に該当すると想定する帳票があれば、意見を伺いたい。
- ③ 帳票の標準化検討において、検討優先度（高・その他）を設定することを考えているが、優先度設定による懸念点や問題点があれば、意見を伺いたい。

3.電子決裁の運用



3.電子決裁の運用

3.1 電子決裁の運用における議論の前提

- 昨年度検討会において、標準仕様書に記載がある電子決裁や内部帳票の取り扱いについて、委員の皆様の意見から、システム導入時に電子決裁を実現する場合に、**決裁伺い帳票の実装方法および電子決裁における拳証資料の取り扱い**の論点があることが分かりました。

電子決裁の運用における論点

標準仕様書の 記載

- ✓ 内部帳票はシステムの画面上で確認する運用を原則としているため、内部帳票について「帳票の情報をシステムの画面上で確認できること」という機能要件が設定されている
- ✓ 標準仕様書別紙3の帳票一覧には、外部帳票だけでなく内部帳票も定めている
- ✓ 電子決裁の機能が標準オプション機能で設定されている

昨年度 意見

- 標準仕様書の記載について以下の意見が寄せられた
- ✓ 標準仕様書3の別紙帳票一覧に決裁伺い帳票が記載されているため、電子決裁を導入するにあたって、帳票として実装する運用、または画面で確認する運用のいずれを採用するのかが不明である
 - ✓ 非電子決裁においては、被保護者から提出を受けた紙媒体の拳証資料を決裁伺い帳票に添付して決裁していたため、電子決裁における拳証資料の扱いが不明である

電子決裁 における論点

- 電子決裁を導入する場合には、以下の論点がある
- ① **決裁伺い帳票の実装方法はどのようにすればよいのか**
 - ② **拳証資料の扱いはどのようにすればよいのか**

3.電子決裁の運用

3.2 電子決裁の運用の想定

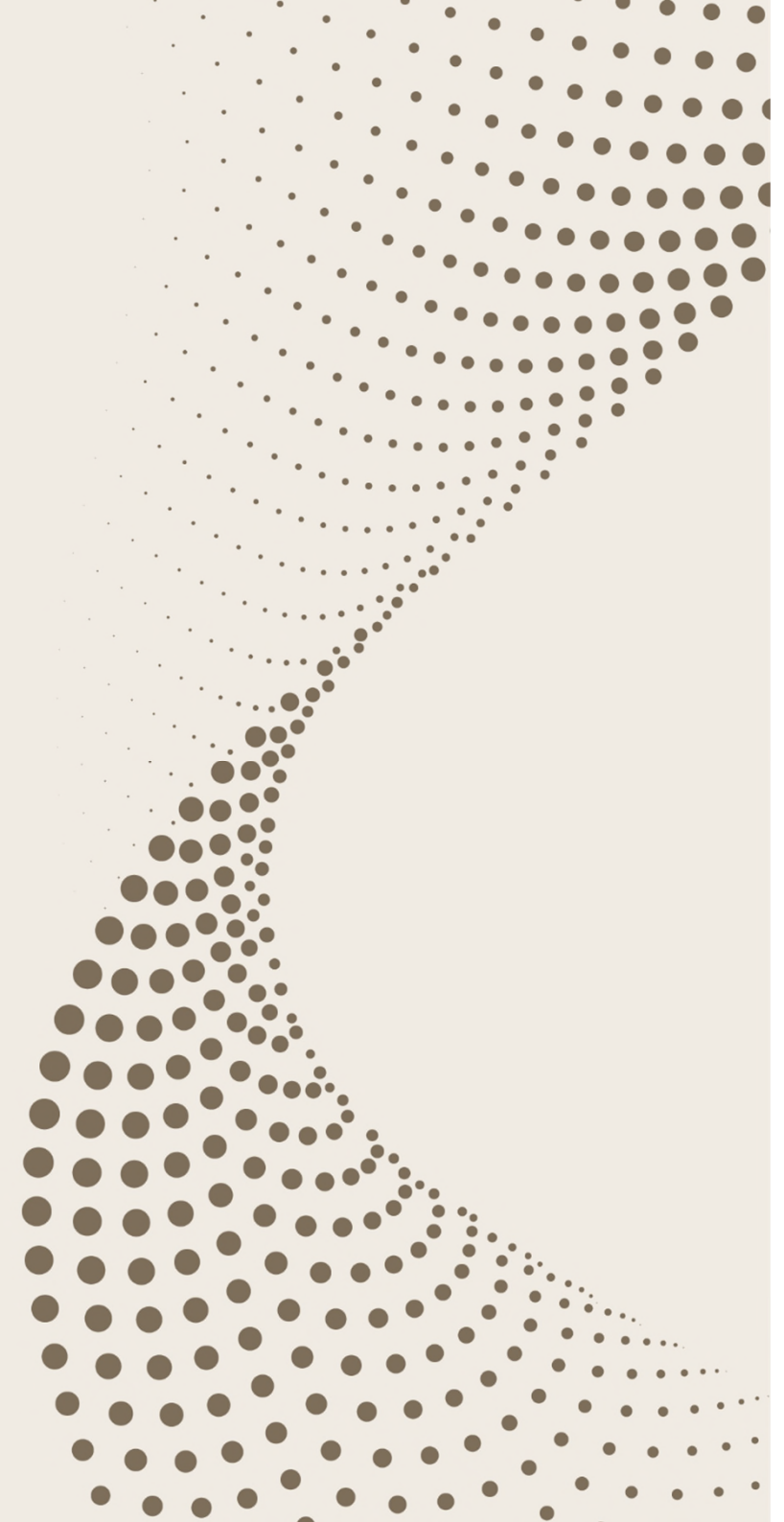
- 電子決裁における論点について、事務局の想定をもとに、運用等について議論を行う想定です。
- 決裁伺い帳票は、システムの画面上で確認する運用を想定しており、帳票を画面確認できる機能を有していれば、帳票をシステムに実装しているものとみなす運用を案として想定しています。
- 拳証資料の取り扱いは、システム導入時に各自治体がベンダと調整を行い、各自治体の実情に応じた拳証資料のシステムへの取り込み方法を決定することを案として想定しています。

運用の想定

	①決裁伺い帳票の実装方法	②拳証資料の取り扱い
論点	✓ 電子決裁における決裁伺い帳票の実装方法はどのようにすればよいのか	✓ 電子決裁における拳証資料の取り扱いはどのようにすればよいのか
自治体運用における必要要素（案）	✓ 決裁伺い帳票の実装方法について、EUC機能を用いた帳票出力の手法、システムの画面上での確認の手法のいずれかを、各自治体を選択できることが望ましい	✓ 各自治体の実情が異なるので、電子決裁を実装する場合の拳証資料取り扱いは、標準仕様書において一律の制限を加えることは適切ではなく、自治体が取扱い方法を選択することが望ましい
運用（案）	✓ 決裁伺い帳票は、システムの画面上で確認する機能を有していれば、システムにおいて実装しているものとみなす運用を想定している	✓ 標準仕様書において取り扱い方法を制限することはせず、システム導入時に、各自治体はベンダと調整を行い、各自治体の実情に合った取り扱い方法を選択することを想定している

- ✓ 【議論】上記の事務局案（自治体状況・運用方法）に、疑問点、問題点がある場合は、意見を伺いたい。

4.EUC機能による出力帳票の整理



4.EUC機能による出力帳票の整理

4.1 EUC機能による出力帳票

- 内部帳票の運用について、昨年度検討会で「EUC機能による出力を前提とする内部帳票の範囲を示してほしい」という意見がありました。
- ご指摘に対応し、内部帳票の実装方法を定める際に参照できる指針が必要であると想定しており、「**事務局の想定する帳票類型ごとの実装方法を整理する**」ことを考えていますので、議論を行い、対応方法を決定します。

EUC機能による出力帳票

昨年度 意見

- ✓ 内部帳票は、「システムの画面上で確認」または「EUC機能を用いて帳票を出力する運用」のいずれかを想定している認識だが、EUC機能による出力を前提とする内部帳票の範囲を示してほしい
- ✓ 内部帳票の実装方法について、標準仕様書で厳格に指定するのではなく、各自治体に選択肢があることが望ましい

今年度の 検討事項

- ✓ **各自治体において、内部帳票の実装方法を定める際に参照できるような指針が必要である**

帳票実装 方法指針 (案)

- ✓ **事務局の想定する帳票の類型ごとの実装方法の想定パターンを指針（案）として示します。**
- ✓ 各帳票類型の実装方法は事務局の想定案であり、システム導入時に指針を参考に、ベンダと自治体とで実装方法について、協議頂くことを想定しています。

帳票類型	推奨される実装方法
① 決裁に使用する帳票 (決裁伺い帳票・決定調書 等)	① システムの画面上で確認
② 庁内の他部署等へ提示する帳票 (連絡票・報告書 等)	② EUC機能による出力
③ 上記①・②以外の帳票	③ システムの画面上確認/EUC機能による出力

- ✓ 【議論】上記の事務局想定の実装方法に、疑問点、問題点がある場合は、意見を伺いたい。

5. 今後の内部帳票WTの進め方

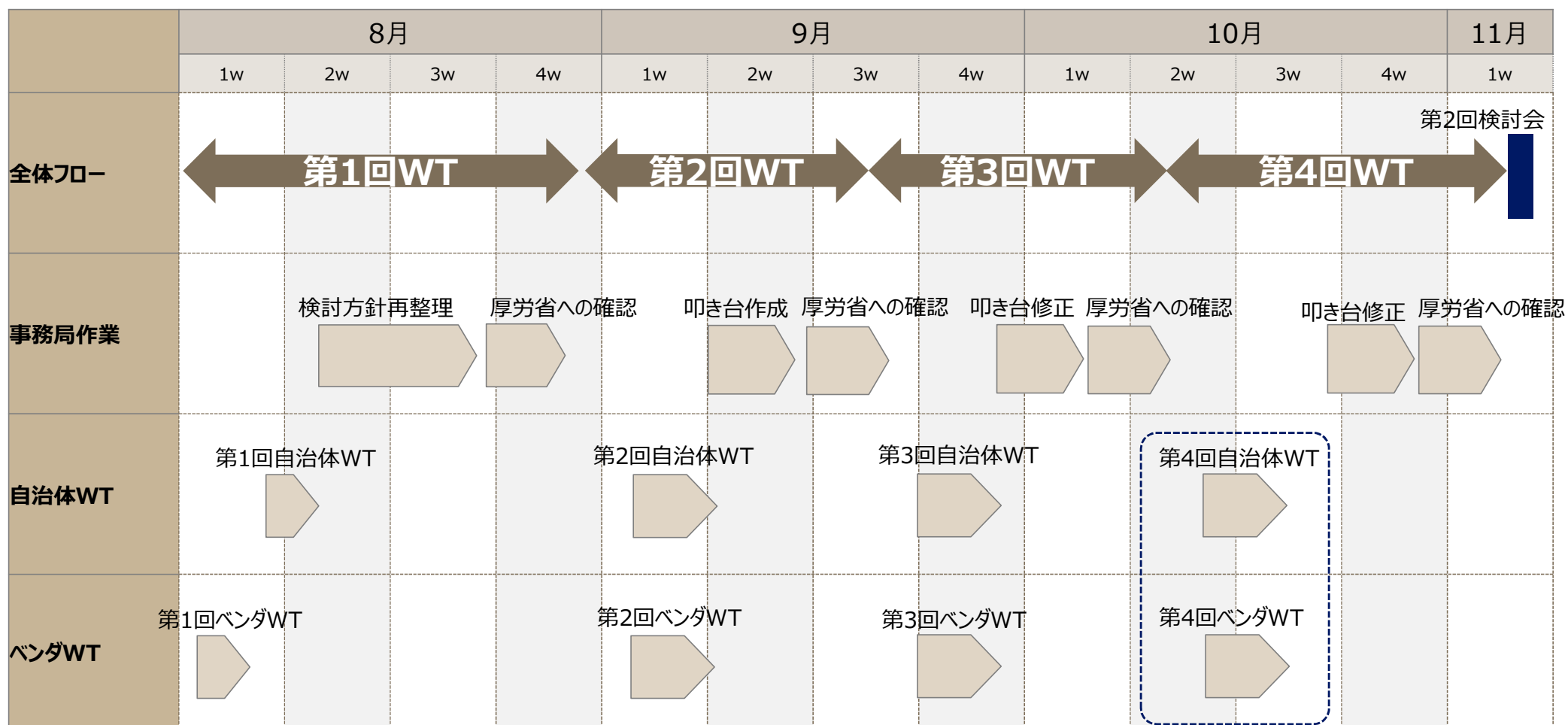


5.今後の内部帳票WTの進め方

5.1 WT（ワーキングチーム）のスケジュール

- 事務局において、帳票要件（帳票レイアウトおよび帳票詳細要件）のたたき台を作成します。作成した帳票要件を用いて、第3回内部帳票WTでたたき台への意見収集を行います。
- また、第4回内部帳票WTでは、たたき台への意見をもとに修正した帳票要件の案を提示し、内容について意見を収集します。

内部帳票WTに係る事項の実施スケジュール



※書面開催予定



アビーム、ABeam及びそのロゴは、アビームコンサルティング株式会社の日本その他の国における登録商標です。
本文に記載されている会社名及び製品名は各社の商号、商標又は登録商標です。©2023 ABeam Consulting Ltd.



Build Beyond As One.®